



かけはし



時を守り、場を清め、礼を正す

きっちり
パワー



◆先日、ある大学の先生の話を書く機会がありました。その先生は、何でも3つのフレーズにまとめてしまうのが上手で、例えば…

学校でのABC … (A)当たり前のことを、(B)ボーッとしないで、(C)ちゃんとやる

PTA … (P)パパも、(T)たまには、(A)集まろう

健康な生活のために … ぐっすり睡眠、しっかり食事、すっきり排便

気持ちのよい家族関係は … 『信頼』・『安心』・『安全』

などなど

◆その中に出てきた言葉が、『時を守り、場を清め、礼を正す』です。

この言葉は、明治時代の哲学者であり教育学者でもあった森 信三という人が述べられた言葉だそうです。教育の中でよく使われる言葉であり、心を育てる上でとても大切な言葉です。

『時を守り』とは、文字通り『時間を守る』ということです。時間を守るということは、他の人から信頼を得るためにも、相手を尊重しているということを相手に理解してもらうためにも大切なことです。時間を守れない人は信用されないということです。



『場を清め』とは、『自分のいる場所をきれいにすると心もきれいになる』ということです。つまり、掃除をすることです。掃除は、自分の生活場所をきれいにするとともに、『心をきれいにする』『謙虚になれる』『感謝の心が生まれる』『気がつく人になれる』などの意味があります。自分の部屋や教室が汚ければ勉強する気になれませんよね。



『礼を正す』とは、『あいさつや返事をしっかりする・服装をきちんとする』ことです。これは礼儀の基本です。『あいさつ』や『返事』は、人間関係の第一歩。明るく、目線を合わせ、にっこりする『あいさつ』や『返事』は、人の心を和ませ、うれしくさせ、人と人とのつながりを深めるものです。あいさつができない、あいさつを無視する、そんな学校にはいじめが起きやすいとも言われています。『服装を正す』ことも、『礼を正す』大切な行動です。その場にふさわしい、学校のきまりにふさわしい服装が大切です。それは、相手やその場に対する礼儀でもあります。『服装の乱れは心の乱れにつながる』というのは、以前からもよく言われている言葉です。



◆『時を守り、場を清め、礼を正す』 覚えて、実践できる人になりましょう。